

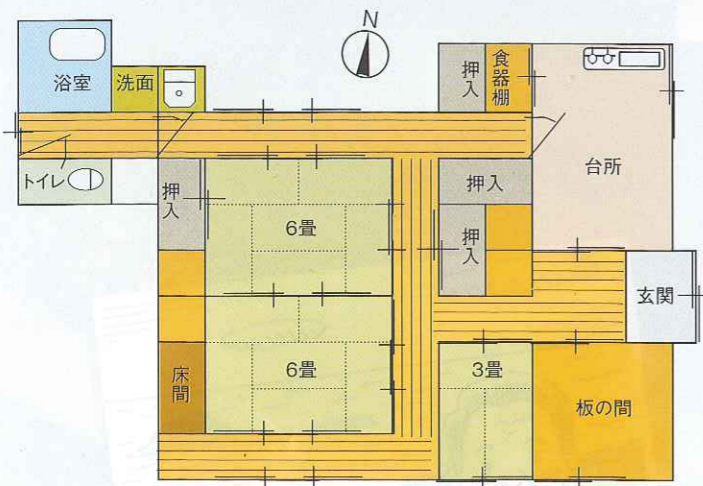
くにみ流 田舎暮らし体験交流古民家

トンテンカンの家

緑のそよ風、潮の香り、大きな青空。
築60年のしっかりとした旧家で、
のんびりとした時間を過ごしてみませんか？



古民家一軒4DK
まるごとお貸しします。



トンテンカンとは？

かつてこの里には、後鳥羽上皇の御番鍛冶24名に選ばれた豊後刀鍛冶の名工である、紀新太夫行平(きのしんだゆうゆきひら)の鍛冶場から鉄を打つ槌音が響き渡っていたという。

1泊あたりの利用料金 (1家族あたり)

■ 1泊～7泊まで……3,000円

■ 8泊目以降……………2,000円

※寝具・調理器具・インターネットなど、
その他様々な設備がご利用できます。

くにみ粋群や国東市の空き家バンクを利用しよう

《国見町 空き家・空き土地情報》

NPO法人 国東半島くにみ粋群の構成メンバーである地元自治会が調査した空き家、空き土地情報が利用できます。

※賃貸や購入は、原則不動産業者が介入します。



「くにみの魅力」について聞きました!

世界約60カ国の旅を通じ
ここが一番だと感じた。



木工家具製造・販売 恒成 哲三郎さん

若い頃、移住先を求めて自転車とヒッチハイクで世界約60カ国をまわりました。国見町で暮らして27年。ひとの素朴さや海のかんじ、里山が豊かで文化財が自然体でそこにあり、市内に空港もあるのが魅力だと思います。工芸家や芸術家も多く、ゆったりと静かに流れる時間の中で仲間と創作活動に励める事がとても幸せです。

子ども達が喜んで食べる
いちごをつくり続けたい!



いちご農家 服部健治・輝美 夫妻

建設会社を退職後、縁あって国見町へ移り、いちご農家始めて18年になります。自然相手の厳しさはあるけれど自分の意思で思いきり働けるところに喜びを感じています。子どもの果物離れが盛んに言われますが、皆さんに喜んで食べてもらえるいちごをつくり続けたいです。励ましあえる農業仲間との交流も大切にしたいですね。

自然の中で制作できる
環境に感謝しています。



グラフィックデザイナー 廣岡 衣奈さん

結婚を機に国見町へ移住し3年が過ぎました。海と山に囲まれ、鳥の声や季節ごとの花の香りや風を感じながら、絵描きの夫と自宅兼アトリエで仕事をしています。自然の中で制作できる事、まわりの方々のご理解に感謝しています。伝統的な風習を守り続けるこの土地で多くの事を学びながら、穏やかに暮らしていけたらと願っています。



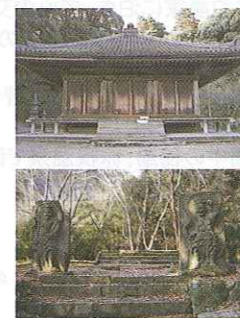
隠れ切支丹南蛮文化の里
ペトロ・カスイ・岐部の誕生地

安土桃山時代から江戸時代初期にかけての日本人キリスト教徒、イエズス会司祭。ローマへの途上、日本人としてはじめてエルサレムを訪問。近世初頭の日本人の中で最も世界を渡り歩いたため「日本のマルコ・ポーロ」「世界を歩いたキリスト」ともいわれています。日本人として初めて聖地エルサレムを訪れた日本人司祭ペトロ・カスイ・岐部記念公園には、ローマの方角を向く像があり、そこで毎年7月初旬に殉教祭が行われます。



国東半島アートプロジェクト ゴームリー作品

1950年ロンドン生まれ。彫刻家。身体と空間の関係について探求する作品で、世界的な評価を得ている芸術家。写真のゴームリー像は、五辻不動尊下の岩場に設置されています。国東半島では2012年より半島をアートで活性化しようと「国東半島アートプロジェクト」が開催されています。昨年10月にはゴームリーさん自らが現地の旧千燈寺や五辻不動尊を訪れ、このすばらしいロケーションの中で設置場所や目線(立ち位置)を決めたという。



宇佐神宮と国東半島の
歴史と文化を後世へ残すために

写真上の富貴寺大堂は平安末期の12世紀後半に創建された「阿彌陀堂形式」の建築で、九州最古の木造建築で貴重な国宝建造物です。写真下の仁王像は「西の高野山」と呼ばれていた旧千燈寺の本堂跡の前に立ち、さらに奥には、講堂跡、奥の院や五輪塔群などが残っています。なお、法華経八巻二八品にちなんで六郷山には二八ヶ寺が建立され、これらの寺とその末寺を含めた六五ヶ寺を「六郷満山」と言っています。



シーニックバイウェイ(美海岸道路100選)

シーニックバイウェイ (Scenic Byway) とは、Scenic (景観のよい)、Byway (脇道、寄り道) といった意味の造語で、主に自動車の走行する道路からの視点で、観光や地域活性化などを目的として、地域の魅力を具現化するための取り組み、またはそのためのルートのことをいいます。2013年に「別府湾岸・国東半島海への道」が日本風景街道(シーニックバイウェイ)に登録されました。海への道は、大分市佐賀関から豊後高田市までの海岸線をつなぐ、総延長約150キロメートルのルートです。

クヌギ林と
ため池がつなぐ
国東半島・宇佐の
農林水産循環

世界農業遺産 [GIAHS]

森の恵み しいたけの故郷

平成25年5月国東半島の宇佐地域が世界農業遺産に認定されました。これは、伝統的な農業と、農業によって育まれ、維持されてきた、土地利用(ため池、農地、水利施設など)、技術、文化風習、風景、そしてそれを取り巻く生物多様性の保全を目的に、世界的に重要な地域を国連食糧農業機関(FAO)が認定するものです。世界では11カ国25ヶ所が認定されています。

